

あすなろだより

第30号

平成25年6月21日発行

社会福祉法人 松園福祉会
特別養護老人ホームあすなろ園
家族会発行

倉敷市玉島勇崎1044番地
電話 086-528-3110
FAX 086-528-3255
ホームページ http://www.asunaro.or.jp
E-mail info-a@asunaro.or.jp



▲書道にいそむ入園者 川中 勇美様(92歳)

「一隅を照らす 己を忘れて他を利する」

これは、伝教大師最澄を開祖とする天台宗の法話集の中にある一説だそうである。

言葉の意味を調べたところ、「一隅を照らす」とは、「自分の今いる場所で精一杯の努力を傾けること」

そして、「己を忘れて他を利する」とは、「この言葉のあとに『慈悲の極みなり』と続き、『己を忘れて他を利するは慈悲の極みなり』となります。「自分のこと」後にして、まず人に喜んで頂くことをする。それは仏様の行ないで、そこに幸せがある」という意味になります。つまり、我欲が先に立つような生活からは幸せは生まれないのだということです。

この言葉を得意の書にしたためた入園者は、30年にもわたり地元の世話役として周りの人たちのために尽くしてこられました。まさしく、書の言葉通りの人生を歩んでこられたのです。

そして、あすなろ園の理念でもある「和顔心」は、仏教の「和顔愛語」を引用しています。「心からの笑顔で接する」という理念のもと、地域の皆様様の要望に応える施設を目指して、今後もより一層の努力をしてまいります。

特養入園者
誕生日に家族と一緒に昼食会



▲小幡初枝様 ご家族
▲中藤禎夫様 ご家族
▲中塚好枝様 ご家族
▲筒井町子様 ご家族
▲横野政子様 ご家族
▲真田昭二郎様 ご家族



ご寄付御礼

平成24年10月23日より
平成25年5月31日まで

次の方々より、金一封のご寄付がありました。(敬称略)
心より御礼申し上げます。

水田 千鶴 中塚 敏之
眞田 靖之 安藤 弘子
中塚 千恵子 妹尾 朝江
内藤 常弘 黒田 正子
岡部 正昭 花田 義久
加山 節夫 岩崎 義美
藤澤 浩史 八木 桃枝
谷田 哲治
白神 哲治
セノーシルバー事業部イイダ
あすなろ園 後援会

次の方々より、物品のご寄付がありました。(敬称略)

片山 博 吉岡 勲
藤岡 栄次 吉川 和子
小幡 和道 西川 賢治
中塚 直樹 曾根 房夫
飯原 正明 華川 實
高橋 孝志 富山 己郎
佐藤 文子 森田 絃子
高橋 寿子 丸野 桂子
柏台町内会

家族会例会で消火訓練



▲防災寸劇をする 女性消防団玉島方面隊



▲慣れない手つきで 消火訓練

平成25年3月の家族会日に、あすなろ園に倉敷市女性消防団玉島方面隊の女性消防団10名が来園。防災寸劇を披露。また、水消火器による実技指導を行ない、家族や職員が防災意識を高めた。

玉島的那須さん夫婦 夫婦演歌船でプロデビュー



▲誕生会で歌う那須さん夫妻

玉島上成に住む那須康夫さん・みえさん夫婦は、昨年演歌歌手としてプロデビュー。

3月14日、4月9日にあすなろ園に来園。自慢の声で入園者やデイサービス利用者を楽しませました。那須さんは、那須設備(有)という水道工事業を経営の傍ら、プロデビューした。現在、各地のイベントや老人ホーム等の慰問を続けている。

ボランティア

平成24年10月23日より
平成25年5月31日まで

ボランティア個人(敬称略)

桑名 純朗 徳田ヤス子
原田スズ子 中藤 政恵
浅原三三子 堀 勝二
秋田美代子 坪井 節雄
坪井 一代 森本 淑男
上野 祥子 西 れい子
浅原 美里 三宅 久美子
浅原 美子 三上 久調
橋本久調 中 久調
那須 康夫 那須 潤加
眞田 富美子 那須 みえ
園田 淳 貴船 だし
坂下 善裕 渡辺 澄子
山野 芳裕 井頭 朋子

ボランティア団体(敬称略)

伊つき座
笠岡愛の善意銀行
玉島民謡同好会
倉敷栄美寿会
翔舞踊会
我楽多会
寿会
みやこ会
玉島うたごえの会
カトレア会
恋恋レトロクラブ
黒崎中学校区 人権学習推進委員会
柏台町内会
柏台おかめ会
小原若葉会
おとめフォークダンス
県立玉島商業高等学校 野球部
あすなろ園家族会

不要入れ歯金属を回収しています

あすなろ園の玄関カウンタに設置している「不要入れ歯回収ボックス」を年2回、倉敷市社会福祉協議会が回収しています。

これは、入れ歯類の貴金属をNPO法人「日本入れ歯リサイクル協会」が全国から回収し、業者へ換金して、ユニセフを通して「世界の恵まれない子どもたち」のために使っているものです。

あすなろ園でも、多数の方が回収に協力してくださっています。引き続きご協力をお願いします。

▲玄関から入って正面のカウンターに設置しています

一陽来福

約17年勤めた介護福祉士としての仕事から離れ、今年の3月からケアマネージャとして新たなスタートを踏み出しました。この人生の転機が好転するか否かは自分の受け止め方や努力次第だと思っています。

もう一つの転機として『あすなろだより』の作成にも携わらせて頂くことになりました。あすなろ園で生活されている入園者や、デイサービスなどを利用してくださっている地域の皆様の様子、私たち職員の取り組みなどを分かりやすくお伝えできればと思います。また、「あすなろ園のこんなところがありました」「など」ご要望がありましたら是非お知らせください。

広報担当 守安 和恵

編集者 編集者 編集者
あすなろ園 広報委員会

